

蘇れ！日本伝統の風景

棚田再生プロジェクト

西条農業高等学校の取り組み

地域と一体となった教育をめざしている西条農業高等学校では、千町地区に広がる棚田を再生しようと、平成17年度から「棚田再生プロジェクト」と題した取り組みをスタートさせています。

プロジェクトでは、毎月第1土曜日を「棚田の日」として、荒廃した棚田を「農業生産活動ゾーン」と「景観保全活動ゾーン」に分割し、生徒、教職員、市民が一体となって、ソバ、キビ、米の栽培や景観作物であるコスモス、菜の花の植付けを行うなど、棚田の再生活動に取り組んでいます。

今年10月には、この活動が評価され、愛媛県内における環境保護活動を表彰する「あいテレビ 三浦保 環境賞」において奨励賞を受賞しました。

毎月第1土曜日は棚田の日

皆さんも棚田再生活動に参加しませんか？



棚田再生プロジェクトに参加を希望する方は、西条農業高等学校（TEL0897-56-3611）へお問い合わせください。

第57回日本学校農業クラブ全国大会

愛媛大会

10月25日・26日
が開催されました

西条市では平板測量競技、農業鑑定競技を実施

大会スローガン

- ・ 青い海 緑の大地は自然の恵み
守る力は農クの心
- ・ 愛の國から 広がり 輝け
農クの輪



全国の農業高校で組織される日本学校農業クラブ連盟の全国大会は、昭和25年の第1回大会以来、毎年全国各地で開催されています。

愛媛県での開催は37年ぶりとなり、大会当日には全国各地から農業高校の生徒や関係者、約2000人が西条市に集いました。

西条運動公園では測量技術を競う平板測量競技、西条農業高等学校では農業の知識を競う農業鑑定競技が行われました。

次代の日本の農業を担う選手の手皆さんは、日ごろ教科の



▲平板測量競技会



▲農業鑑定競技会

学習や学校農業クラブ活動で得た知識と技術を駆使して、実力を競い合っていました。

食材提供の西条市から 食情報発信の西条市へ

西条市は石鎚山、道前平野、燧灘に代表される自然環境と、石鎚山系を源とする豊富な水資源に恵まれた環境都市です。また、工業出荷額は四国最大規模である一方で、西部地域を中心とした県内有数の農業地域を有し、四国屈指の工業集積と広大な経営農地を有する、四国最大規模の産業都市でもあります。

特に農業では水稲、裸麦、大豆、ニンジン、ホウレンソウ、きゅうり、イチゴ、メロン、柿、七草など多くの品目にて県下で圧倒的な出荷量を誇っています。

これらの農産品をはじめとする良質な産品に恵まれている西条市ですが、これからの農業のあり方を考えた場合、これらの産品に更なる付加価値を高めていくことや、食に関する情報を広く内外へPRしていくことなどが、私たちが直面している次なる課題といえます。

現在、市ではJＲ壬生川駅に隣接する産業学習館を改修

し、食の話題づくりと情報発信、食に関する研究機能を有する食の拠点施設への整備を進めています。

施設には、食に関する商品開発などを支援するブランド化支援室、料理教室や著名な料理人、パティシエ（菓子職人）による料理講習会の際に使用するキッチンスタジオなどの機能を備え、地域住民が主役となった賑わいのあるまちづくりの拠点施設へと生まれ変わる予定です。

食材提供の西条市から食情報発信の西条市へ。新しい施設のオープンは今後4月を予定しています。

■問合せ

市庁舎本館産業振興課
TEL 0897-561515



西条市の第1次産業は、県内有数の複合農業地帯であるとともに、海苔や車えび、かに類などの水産物にも恵まれています。